



What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

INDEX

今号の主な内容

■「エンジニアカフェ」がオープン..... P1	■三者連携シンポジウムを開催..... P5
■第4回ふくおかAI・IoT祭りinSRPを開催..... P2	■夏休み体験実験、国内外体験交流..... P5
■OSS Gate Fukuokaを開催..... P2	■分析化学講習会を共催..... P5
■オープンソースカンファレンス2019Fukuokaを開催..... P3	■第14回有機光エレクトロニクス産業化研究会を開催..... P6
■「My-IoT開発プラットフォームの研究開発」 ワーキンググループの活動開始！..... P3	■FITCO×アビスパ福岡 WG 発足..... P7
■九大、理研、福岡市 三者連携フォーラム@明星和楽..... P4	■吉永崇IAがMicrosoftMVPを3年連続受賞..... P7
■モノづくりフェア2019出展..... P4	■ISITからのご報告、賛助会員紹介・募集..... P8

福岡のエンジニアの拠点 「エンジニアカフェ」がオープン



令和元年8月

令和元年8月、「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街 福岡」を目指すエンジニアフレンドリーシティ福岡の取り組みの一つとして、国の重要文化財である福岡市赤煉瓦文化館内にエンジニアの拠点「エンジニアカフェ」がオープンしました。

オープンから約5か月で、コミュニティなどが主催する勉強会やイベントが約120回開催され（ほぼ1日1回のペース）、それぞれの勉強会参加者のうち、初めてそのコミュニティの活動に参加した人の割合が4割を超えるなど、着実にエンジニアやコミュニティの活動の拠点として盛り上がってきています。



《エンジニアカフェの主な機能》

- メインスペース**
ワーキングの他、イベント・勉強会の会場として利用可能なスペース
- 集中スペース**
個別のブースで集中して作業できるスペース
- MAKER'sスペース**
機器の試作が出来るモノづくりスペース
- ミーティングスペース**
少人数での勉強会などにも利用できるスペース
- コミュニティマネージャーが常駐**
エンジニアやエンジニアを目指す方等からの様々な相談に対応、活躍できる環境づくりをサポートします。

◎施設のご利用に際して、登録や利用料は不要です。詳細はWebサイトをご覧ください。
(<https://engineercafe.jp/>)



- **場 所**：福岡市中央区天神1丁目15番30号
(地下鉄天神駅すぐ)
- **営業時間**：9：00～22:00
(相談受付時間 13:00～21:00)
- **休 館 日**：毎月最終月曜日及び年末年始
(12/28～1/3)

今回で第4回目となる「ふくおかAI・IoT祭りin SRP」が福岡市IoTコンソーシアム、福岡市、QUEST、ISITの主催により開催されました。

テーマ

『“ここまできた!デジタル変革が創る未来”～FDX=ふくおか×デジタル変革～』



九州大学名誉教授 村上和彰氏、経済産業省 和泉憲明氏による基調講演や有識者によるAI・IoT・ビッグデータの最新活用事例、ソリューションの紹介を行いました。

その他、福岡市の取り組み紹介やFITCO会員・展示企業によるピッチ、QUESTセミナーのブロックチェーンとエネルギー、Pythonハンズオンセミナー、福岡市のデータを分析するWGなど様々な企画を行い、会員企業・団体36社による展示ブースも賑わいを見せるなど来場者は511名に上り、会場は大盛況となりました。



九州大学名誉教授
村上 和彰 氏



経済産業省
和泉 憲明 氏



登壇者の一例

九州大学名誉教授 経済産業省 ソフトバンク(株) (株)ティー・アール・イー 事業構想大学院大学/スカイマーク前社長 アビスパ福岡(株) SBクラウド(株) 内閣府(SIP) (株)グッデイ (一社)日本ディーブラーニング協会 ほか

詳細は <http://www.fitco.jp/event/2019/matsuri201911/> にも掲載しています。

OSS Gate Fukuokaを開催

</> Engineer Friendly City
Fukuoka

令和元年9月

今回で3回目となる「OSS Gate Fukuoka」-3 commits-を令和元年9月10日・11日の2日間、エンジニアカフェにて開催しました。

今回は15名のエンジニアが参加し、OSS Gateの趣旨や目的、GitHubのissue機能の紹介や作業の流れのレクチャーから、実際にユーザーとして動かしフィードバックを行うところまでの一連の流れをこのワークショップで体験しました。

イベントレポート：<https://efc.fukuoka.jp/information/1678>



オープンソースカンファレンス2019 Fukuokaを開催

令和元年11月

令和元年11月9日（土）、今年で13回目の開催となるオープンソースカンファレンス（OSC）2019 Fukuokaが九州産業大学で開催されました。OSC福岡実行委員会が主催、ISITは共催しています。

33のセミナーと展示38ブース、初心者向けからディープなものまで幅広く多様なセミナーが開催され盛り上がりました。参加型のハンズオンセミナーには九産大の学生も多く参加。また展示ブースには、福岡発のオープンソースであるbaserCMSやETロボコンなど、ソフトウェアからハード寄りのもので、多くのコミュニティや企業の出展がありました。

エンジニアフレンドリーシティ福岡の取り組みも進んでいますので、今後はEFCとも連携して福岡市のITコミュニティの活動を盛り上げていきます。



「My-IoT 開発プラットフォームの研究開発」 ワーキンググループの活動開始！

令和元年



内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）で実施している、「My-IoT 開発プラットフォームの研究開発」のワーキンググループ（WG）の活動が始まりました。

My-IoTは、誰でも簡単にIoTを利用できる技術を開発し、IoTのエコシステムを作る事で、多くの新ビジネスが生まれる環境を実現することを目指したプロジェクトです。

本WGでは、九州大学と日本電気株式会社が進めている研究開発を基盤に、研究シーズと現場のニーズを繋ぎ、

IoTが多くの中小企業で実際に使えるようになる事を目指しています。これまで、福岡市IoTコンソーシアム（FITCO）の会員から福岡市の製造業やITベンチャーで先進的な企業にメンバーになってもらい、ISITを中心とした産学官での議論を通じ、現場の課題をMy-IoTにフィードバックする取り組みを進めており、今後は実際の現場でIoTの実証実験を行っていく予定となっています。今後もこういった場を通じて中小企業と大学等研究機関の交流を深め、新テーマの創出や共同研究の芽を育てていきます。

ISITは、福岡市、九州大学および理化学研究所(理研)と連携し、共同研究や産業界との連携促進等に取り組んでいます。今回のフォーラムは「研究からスタートアップへ」を切り口に、研究シーズを起点とした産学連携の施策や実例を地域の企業や団体に広く情報発信することを目的に開催しました。

今回、新たな試みとして「テクノロジーとクリエイティブの祭典」として福岡に定着しつつある「明星和楽2019」に三者連携フォーラムとしての特別セッションを設け、理研及び九大の関係者による講演、ISITによる取組紹介のほか、関連の紹介パネル、研究成果物や商品化サンプル等の展示を行いました。

三者連携フォーラムの特別セッションには、企業・金融機関等、大学等研究機関、産業支援機関・地方自治体等などから150名の参加がありました。詳細は<https://fiac2.isit.or.jp/?p=1013>をご覧ください。

理研-九大-福岡市 三者連携フォーラム@明星和楽2019 プログラム

令和元年10月29日 福岡市中央区スカラエスパシオ

《第I部 九大・理研スタートアップ創出取組紹介》

- ・ 九大起業部の挑戦
九州大学 学術研究・産学官連携本部
ベンチャー創出推進グループ 准教授 熊野 正樹 氏
- ・ 理研の新たな取組：(株)理研鼎業の事業紹介
株式会社理研鼎業 代表取締役 油谷 好浩 氏

《第II部 九大・理研発スタートアップの事例紹介》

- ・ 美しく、超複雑形状、オンデマンドでの
3D石英ガラス製品を届けます！
九州大学グローバルイノベーションセンター (GIC)
教授 藤野 茂 氏
- ・ スピーディーに、苔の緑で、地球を癒す
株式会社JAPAN MOSS FACTORY
代表取締役 井藤賀 操 氏



モノづくりフェア2019 出展 「接着技術セミナー」及び「出張よろず相談会」を開催

令和元年10月

ふくおか産学共創コンソーシアム(事務局:ISIT)は、企業等のモノづくり・研究開発における重要な技術をテーマとした技術セミナーを開催しています。これまでは「洗浄」をテーマに3回開催してきましたが、洗浄と同じ「表面・界面」分野の技術として、今回は「接着」をテーマに、モノづくりフェア2019会場内セミナールームにて10月18日に開催しました。

ISITも参画するJST未来社会創造事業「Society5.0の実現をもたらす革新的接着技術の開発(代表:田中敬二 九州大学教授)」から、研究員の青木美佳 氏を講師に迎え、予想を上回る50名の参加がありました。「普段学べないことが学べて良かった」「来年もセミナーを実施してほしい」などの声に参加者から聞かれるなど、関心の高さがうかがえました(詳細は https://fiac2.isit.or.jp/?page_id=796 へ)。

また同フェアのブースでは、ふくおか産学共創コンソーシアムの活動紹介に加え、ISIT・九大・福岡市などの協定に基づき、各種分析機器などを活用した技術課題解決支援の取り組み「分析NEXT」による来場企業向けのよろず相談を行いました。



理研－九大－福岡市三者連携シンポジウム開催

令和元年5月

令和元年5月22日、理研-九大-福岡市主催の連携シンポジウム「未来社会につながる科学研究～物性と物質」が理研和光キャンパス・鈴木梅太郎記念ホールで開催されました。理研と九大の研究者の人材育成推進や共同研究促進が目的の本シンポジウムにおいて、研究者を中心とする59名の参加があり、ISITからは、川畑産学官共創推進室長より「福岡市・九州先端科学技術研究所における活動紹介」という演題で、本連携推進に関わる活動や取組みについて紹介を行いました。



夏休み体験実験など国内外から次世代が体験交流

令和元年8月・10月

ISITは、九州大学、福岡市産学連携交流センター（FiaS）指定管理者と共同で、小中学生向け夏休み体験実験「昆虫に学ぶ最先端テクノロジー」を令和元年8月3日に開催し、親子30組が参加しました。

参加者は最初に座学で、九州大学の神谷典穂教授と日下部宜宏教授から、小さな生きものである昆虫が持つ素晴らしい機能と、その機能を応用した最先端の研究や技術について、またISITの吉原大輔イノベーション・アーキテクトからFiaSの電子顕微鏡を用いたミクロの世界について、話を聞きました。

次に体験実験では、ホタルの発光の原因である酵素を使った実験、手洗いの除菌効果の機械での測定、また電子顕微鏡操作では昆虫を観察したりと、普段触れることが難しい化学の世界に目を輝かせながら取り組んでいました。

また、8月から10月にかけては、宮崎県の宮崎第一高等学校、大分県の日田高等学校、中国の西安交通大学がFiaSを訪れ、ISITは研究室視察や顕微鏡体験等を通じて研究所の活動を紹介し、若い世代の進路選択に資する機会としました。特に、西安交通大学学生の受入れは、科学技術振興機構（JST）から「さくらサイエンスプラン」の採択を受け実施したもので、学生10名を8月に約1週間の日程で迎え、FiaSでの顕微鏡体験のほか、SRP地区の見学や九州大学の留学生との交流、企業視察なども行い、貴重な体験交流の機会にもなりました。



第60回 分析化学講習会を共催

令和元年8月

ISITは人材育成事業の一環として、公益社団法人日本分析化学会九州支部が主催する第60回分析化学講習会に共催として参画し、参加者の分析機器講習、実習を行いました。8月6日には核磁気共鳴分光法（NMR）、8月8日には電子顕微鏡（SEM, TEM）についての講義と実習をFiaSの分析機器室を中心に開催しました。

参加者は講義と装置を使用した実習に熱心に取り組んでおり、特に実機を使っての実習は中々無い機会であり、講義と実習の一連の流れを一日で行うことで、参加者の機器分析に対する理解が更に深まったようでした。



ISITは、福岡県、福岡市、福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）とともに、地場産業による有機EL産業への参入を促すため、有機光エレクトロニクス産業化研究会を年2回のペースで開催しています。

今回は、令和元年7月29日に福岡市中央区で開催し、九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）安達教授が提唱し推進している「有機光デバイスシステムバレー構想」（※1）の現状と、この構想から創業した九大発ベンチャーの紹介を行いました。

安達教授からは、「未来へ広がる有機光エレクトロニクスー九大伊都キャンパスにおける基礎研究から実用化開発までの研究開発体制の構築ー」と題し、九大での基礎研究の推進や大型プロジェクトの獲得を契機に、伊都地区に、応用や実用化の橋渡し研究を行うふくおかISTの有機光エレクトロニクス実用化開発センター（i³-OPERA）とISIT有機光デバイスグループが創出され、環境が整ってきたこと。その上で、大学発ベンチャーが創業可能になり、事業が軌道に乗るように一生懸命に努力していることなどが紹介されました。=写真右上

さらに、九大発の最新の材料の事業化を目指す(株)Kyulux、世界初の有機半導体レーザーの実用化を目指す(株)KOALA Tech、i³-OPERA発の有機半導体薄膜製造装置開発を行うi-heatingの取り組みについて、それぞれの創業者から講演がありました。

最後に、QBキャピタルの坂本代表から、地域イノベーション創出への期待からも、材料やデバイスの事業化には時間が掛かることを十分に理解し、息の長い支援を行っているとの講演がありました。

当日は、90名の参加があり、九州大学を中心とした有機光デバイスシステムバレーの日本における特異性や、安達教授の次のターゲット課題、QBキャピタルが取り組む投資・考え方などについて活発な質疑応答があるなど、この様な取り組みは日本の他地域ではあまり見られないこともあり、参加者の関心の高さが伺えました。

■大学発ベンチャー表彰2019 経済産業大臣賞受賞

QBキャピタルによる講演が、大学発ベンチャー表彰2019（※2）受賞者の対外公表のタイミングと重なり、講演の中で坂本代表ご自身から急遽、Kyuluxー九大ーQBキャピタルの連携による「次世代有機EL発光材料TADFの開発・製造・販売」事業が経済産業大臣賞を受賞した旨の報告がなされ、会場からは祝福の拍手が送られていました。



写真=後日、8月29日に東京ビッグサイトにて催された大学発ベンチャー表彰式の一コマ。右から、QBキャピタル坂本代表、九大OPERA中野谷准教授、Kyulux安達淳治社長、磯崎経済産業副大臣。（JST HPより）

※1 有機光デバイスシステムバレー構想とは、商業、大学、空と陸の交通インフラ、文化・自然と産業基盤がコンパクトに集積している福岡で、基礎研究から事業化までを、大学、ISIT等の支援組織、ベンチャー、行政が一丸となって推進し、さらに優秀な人材が集うシリコンバレーのような地域にする構想。

※2 「大学発ベンチャー表彰」とは、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が2014年度に開始した制度で、大学等の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰するものです。

FITCO×アビスパ福岡 スポーツテックワーキンググループ発足



福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)は、このたび、FITCO会員であるアビスパ福岡株式会社と連携し、「アビスパ福岡を取り巻くすべての皆様にIoT活用により盛り上げる」をキーワードに、スポーツテック分野に関するワーキンググループを立ち上げることといたしました。

なお、ワーキンググループ立ち上げに先駆けて、令和元年11月24日(日)に開催されたJ2リーグ第42節アビスパ福岡VS鹿児島ユナイテッドFC戦において、生体認証技術を使った次世代スタジアム体験実証実験を行いました。

アビスパ福岡の実証実験第1弾として手の指4本で生体認証を行いチケットレスで入場できる仕組み、また、スマホで注文&決済を行い、待ち時間なしで飲食商品を受け取れる仕組みの実証実験を行いました。



【取り組みテーマ・手法】

「コミュニケーション関連テーマ『つなぐ』」「スタジアム満足度関連テーマ『手軽』」の2つのテーマを設定し、参画する企業・個人を募集し、アイデア提案型の運営を行っていきます。

スポーツテックWGの取り組みイメージ

テーマ①: コミュニケーション関連

活動の例: ネットワークキャリアを中心に、IoT活用のアイデア出しを行い、実証に繋げるチームを組成。

テーマ②: スタジアム満足度関連

活動の例: 大学やIT企業を中心に産学連携でAI(画像認識)を利用した、スタジアムまでの交通状況を把握するアプリを検討。

WGで生まれた
アイデア&チームを
実証へ向けた
取り組みへ

〈実証フィールド〉 アビスパ福岡

WGで出たアイデアの実証を参加企業がアビスパ福岡と連携して実施

※PoC(Proof of Concept)の例
「スマホアプリによる交通のスマート化」

吉永崇イノベーション・アーキテクトが Microsoft社のMVPを受賞 3年連続の快挙!!

令和元年7月

ISITの吉永崇(よしながたかし)イノベーション・アーキテクトがマイクロソフト社のMost Valuable Professional(MVP)賞を受賞しました! 2017年から3年連続の受賞となります。この賞は、マイクロソフトの製品やテクノロジーに関する技術的かつ豊富な専門知識を習得しており、その知識を様々なコミュニティの場で発信、共有しながら活動している『個人』に与えられる賞です。本受賞は、Windows Developmentのカテゴリー内で、Mixed Reality(現実と仮想が融合された世界)についての活動が対象となりました。各地での勉強会の開催やSNSやブログでの情報発信など、これまでの活動が評価されたものです。



ISITからのご報告

■ 事務所移転のお知らせ

2020年1月より百道浜の事務所が下記住所へ移転いたしました。
・福岡市早良区百道浜2丁目1-22 〈福岡SRPセンタービル5階〉
(同じビルの7階から5階への移転です)

賛助会員〈法人・個人〉のご紹介

新規賛助会員ご紹介 (種別・加入順)

- 福岡大学工学部電子情報工学科 様
- 株式会社 インフォセンス 様
基幹・ロジスティクス・インフラのITソリューションによってお客様の企業価値を高めます。
- リソースフォレスト 株式会社 様
間伐材や未利用材をチップ状にして特殊な接着剤で固形化した環境型舗装材の製造、販売
- 株式会社 栄宝 様
国内唯一のケミカルライト製造工場。その技術を生かした全く新しいイノシシ用忌避剤『しし防®』の製造、販売

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介 (リンク等)

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付 等

詳細はこちらまで! ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。
<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発 行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22
〈福岡SRPセンタービル5階〉

Fukuoka SRP Center Bldg 5F
2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

■ TEL 092-852-3450 ■ FAX 092-852-3455

■ URL: <https://www.isit.or.jp>

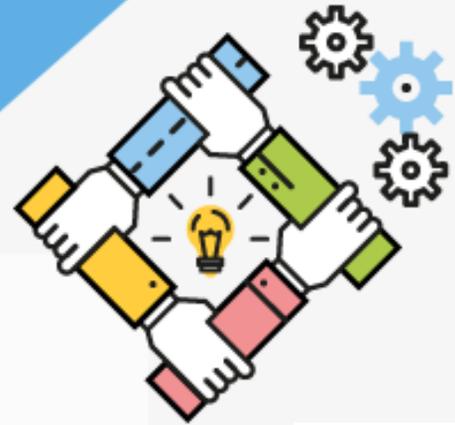
■ 編集: ISIT事業支援部

■ 制作: 株式会社西日本高速印刷



賛助会員入会のご案内

当財団の事業目的に賛同して頂ける方
(企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中



主な特典

1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
3. ホームページで会員紹介(リンク等)
4. その他活動報告書や活動レポートの送付



当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。

産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK事業)
- SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業 (分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細：<https://www.isit.or.jp/project/>



II 産学官連携による新産業・新事業の創出支援事業

受託/共同研究・事業

プロジェクト型研究・事業

I 研究開発事業

定常型研究・事業

V 人材育成事業

III コンサルティング事業

IV 情報収集・提供事業

VI 内外関係機関との交流・協力事業

【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel : 092-852-3450 Fax : 092-852-3455

E-mail : isit-soumu@isit.or.jp

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル5階

